
「視神経脊髄炎関連疾患に対する血液浄化療法の検討」

に関するお知らせ

このたび、当院で視神経脊髄炎関連疾患に対して血液浄化療法を実施した患者さんを対象に以下の研究を実施いたします。

本研究は、埼玉医科大学病院 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2023年1月1日から2025年4月30日の期間に埼玉医科大学病院を受診し、視神経脊髄炎関連疾患の診断で血液浄化療法を実施した20歳以上の患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

視神経脊髄炎関連疾患 (neuromyelitis optica spectrum disorder: NMOSD) は、重度の視神経炎と横断性脊髄炎を特徴とする中枢神経の炎症疾患になります。NMOSD の治療ではステロイドパルス療法 (intravenous methylprednisolone: IVMP) が第一選択とされ、IVMP が奏功しない場合、血液浄化療法 (plasmaapheresis: PP) を早めに導入することが推奨されています。本研究の目的は、NMOSD に対する PP の施行方法や治療介入までの日数から治療効果を検討することです。

3. 研究期間

病院長の許可後 ~ 2026年5月31日まで

4. 利用または提供の開始予定日

2025年6月1日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

1. 患者背景

年齢、性別、抗 APQ4 抗体・抗 MOG 抗体の有無、自覚症状

2. 治療経過

IVMP 開始までの日数、PP の治療法、改善兆候までの期間、転帰

3. PP の施行方法

PP の治療法、処理量、置換液濃度、循環動態

この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院において、研究責任者である岡田浩一が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

患者さんの検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学病院 腎臓内科 岡田浩一(研究責任者)
- ・ 埼玉医科大学病院 臨床工学部 鳴海敏行
- ・ 埼玉医科大学病院 臨床工学部 村杉浩
- ・ 埼玉医科大学病院 腎臓内科 天野博明
- ・ 埼玉医科大学病院 腎臓内科 友利浩司
- ・ 埼玉医科大学病院 腎臓内科 井上勉
- ・ 埼玉医科大学病院 脳神経内科・脳卒中内科 藤田宗吾
- ・ 埼玉医科大学病院 眼科 吉川祐司
- ・ 埼玉医科大学病院 眼科 篠田啓

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学病院 病院長 篠塚望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

- ・ ご希望があれば、他の患者さんの個人情報および知的財産の保護に支障がない範囲で、研究計画書や研究の方法に関する資料を閲覧することができますので、以下の連絡先までご連絡ください。

埼玉医科大学病院 臨床工学部 鳴海 敏行

住所：〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

電話：049-276-1639（土日祝日を除く 8：30～17：30）

○研究課題名：視神経脊髄炎関連疾患に対する血液浄化療法の検討

○研究責任者：埼玉医科大学病院 腎臓内科 岡田 浩一